# 令和6年度秦野市教科用図書採択検討委員会　調査研究報告書

秦野市教科用図書採択検討委員会
委員長　　横山　潔

本検討委員会では、来年度使用する秦野市立中学校の教科用図書について、５月の教育委員会会議において議決された「令和7年度に秦野市立小学校及び中学校で使用する教科用図書の採択方針」に基づき、秦野市・平塚市・伊勢原市・大磯町・二宮町合同で設置された調査員会の調査研究の結果等をもとに審議を行いました。その結果を報告いたします。

令和7年度に中学校で使用する教科用図書についての各者別審議内容

【国語】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 東京書籍 | ・各教材で身に付けたい力が「言葉の力」で示され、読むことから話すこと・聞くこと、書くことにそれぞれつながるように配列されている。また同じ系統の力を各学年で段階的に学習できる教材が設定されている。<br>・「読書活動」では、1年生「本のポップ」、2年生「ビブリオバトル」、3年生「読書会の方法」等、本を通じた対話的な学習活動が設定されている。 |
| 三省堂 | ・各教材に付けたい力として「目標」を提示し、最後には学習を振り返る課題が設定されている。また現代社会における課題を取り上げ、対話を通して考え、問題解決する教材が設定されている。<br>・「読書活動」では、本を通じた対話的な学習活動を行うため、1年生「私が選ぶこの一文」、2年生「ビブリオバトル」、3年生「ブックトーク」が掲載されている。 |
| 教育出版 | ・「学びナビ」で教材を理解するための視点が示されている。「みちしるべ」では「学びナビ」を踏まえた学習の手引きが示され、生徒が主体的に学ぶための教材が設定されている。<br>・読むことについては、学習の手引き「みちしるべ」において、読む力が身に付けられるよう学習過程に即した言語活動が設定されている。 |
| 光村図書 | ・「学びへの扉」では、学習活動と学習目標が示され、見通しをもって学習に取り組める構成になっている。また「学びのカギ」では教材や教科を超えて活用できる、資質・能力が図等で示されている。<br>・「本の世界を広げよう」では、読書習慣を定着させるため、各学年2か所で多様なテーマの作品が掲載されている。 |

主な審議内容及び検討結果

【主な意見】
・東京書籍は、「言葉の力」が共通して使用されており、統一感がある。「広がる言葉」等、語彙力を 高めることに注力されている。
・三省堂は巻末に幅広いジャンルの本が紹介されていると同時に、本の紹介が実際の文章で見られる特徴がある。
・教育出版は、教材の前後に導入とまとめの説明があり、経験が浅い先生を含めて教材研究や指導の参考となる。
・光村図書は、幅広い読み物が充実しており、子どもたちの興味関心が幅広い中でも読書活動の充実を図りやすい特徴がある。
・各者、教科用図書を活用して様々な活動をする際に役立つページを巻末に設けている。

【書写】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 東京書籍 | ・教材文字が上に、書き込み欄が下に配置されることによって、利き手によらず教材文字を見ることができる。<br>・「書写のかぎ」で学習のポイントを確認し、「見つけよう」で興味をもち、「確かめよう」で毛筆で書き、「生かそう」で他の文字を硬筆で書くように構成されている。 |
| 三省堂 | ・国語の教材と関連付けた学習指導ができるように、国語で学習する教材文等、各学年における国語の学習内容が掲載されている。<br>・「書いて身につけよう」では、毛筆で学んだ内容を硬筆で活用する書き込み欄が複数設定されている。 |
| 教育出版 | ・伝統と文化を尊重し、文字環境が豊かになるように、各学年の硬筆教材として古典教材が掲載されている。<br>・硬筆で試し書きをした後、「考えよう」で筆の動きを確認し、「生かそう」で学んだ内容を練習できる欄が設定されている。 |
| 光村図書 | ・毛筆の学習を生かして硬筆で繰り返し練習し、書く力が定着するように、教科書とは別に「書写ブック」が設定されている。<br>・「学びのカギ」で文字の整え方を確認し、「確かめよう」で毛筆のポイントをおさえてから、「生かそう」で学習したことを硬筆で活用できるように設定されている。 |

主な審議内容及び検討結果

【主な意見】
・東京書籍の「生活に広げよう」では、職場体験のお礼状を書く等、実際の学校生活で役立つ教材が設定されている。
・三省堂の「やってみよう」は、太いフェルトペンの使い方など、身近な生活に役立つ基本的な所作を学べる工夫がある。
・教育出版では、書く速さを意識したり文字の形やバランスを意識したりする項目があり、美しく速く文字を書けるようになるための工夫がされている。
・光村図書は、著名人の字を例示しながら、手書きの文字を「自分らしい文字で」と捉え、自信をもって学習していけるように工夫されている。
・各社、書くことの技能を学ぶだけでなく、子どもたちが考えながら書字を学べるように工夫がされている。
・判が発行者によって多少異なり、見開きにした時に机上での作業に支障をきたさないか留意する必要がある。

【地理的分野】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 東京書籍 | ・地理的な見方・考え方が冒頭の「地理を学ぶ5つのミカタ」に写真付きで解説され、地理的分野の学習に必要な視点が示されている。<br>・多面的・多角的に学習できるように、学習内容から更に発展した考えを深めるための、「もっと知りたい！」や「もっと解説」が掲載されている。 |
| 教育出版 | ・「地理の学習を始めるにあたって」では、地理分野の学習の流れ等について示され、各編・章の最初のページに、学習内容と地理的な見方・考え方が示されている。<br>・見開きごとに「確認！」と「表現！」のコーナーが掲載されており、特に「表現！」では、学習した内容を生かして、学習事項をまとめたり、話合いをしたりして考えを表現する場面が設定されている。 |
| 帝国書院 | ・地理的な見方・考え方について、地理の学習全体を通して学習していくための視点が巻頭8に示されている。<br>・章や節ごとに学習を通じての課題が提示されており、その課題に対しての具体的な取り組み方や考え方が書かれている、「説明しよう」が設けられている。 |
| 日本文教出版 | ・地理的な見方・考え方について、イラストを用いて視覚的に示すとともに、学習を進める手立てが示されている。<br>・地理的な事象について多面的・多角的に考察し、表現するために、節ごとに自身で問いを考えるための、「節の問いを立てよう」が設けられている。 |

主な審議内容及び検討結果

【主な意見】
・教出版では、地理の他ページや公民・歴史との関連が示されており、教科横断的に学びを繋げていくための工夫がされている。
・東京書籍の「もっと知りたい！」「もっと解説」では、現在のルールを続けることにより、30年後40年後にどのような変化が生まれるか等、予測しながら学ぶ工夫がされている。
・帝国書院では、二次元コードからワークシートにアクセスできるようになっており、生徒にとって自主的に学びやすく、教師にとって、準備の効率化が図られる工夫となっている。
・日本文教出版では、地域社会の在り方を考察・発信したりSDGsの視点から持続可能な地域を学んだり等、生徒が地域の視点から未来を考える工夫がされている。
・各者、地理的な見方・考え方の書きぶりに違いはないが、掲出場所や頻度には、違いがある。
・各者、多面的・多角的に学びを深めていけるよう話し合い活動の充実が図られている。

【歴史的分野】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 東京書籍 | ・教科書全体が「環境・エネルギー」、「人権・平和」、「伝統・文化」、「防災・安全」、「情報・技術」の5つのテーマで設定されている。<br>・第1章に歴史的な見方・考え方として、「時期や年代」、「推移」、「比較」、「相互の関連」、「現在とのつながり」の5項目が示されている。 |
| 教育出版 | ・現代社会の課題について、SDGsの視点から問いを立てて調査・考察し、発表・交流する学習活動の例が示されている。<br>・導入に歴史的な見方・考え方を働かせながら資料を読み取る、「LOOK！」というコーナーが設定されている。 |
| 帝国書院 | ・巻頭・巻末・本文各所に「環境・エネルギー」、「防災」、「人種・多文化」、「平和・安全」、「情報・技術」、「伝統・文化」の6つのテーマが示されている。<br>・第1章に歴史的な見方・考え方として、「時期や年代」、「推移」、「比較」、「相互の関連」の4項目が示されている。 |
| 山川出版 | ・資料にいつ、なぜ、どのように起こったのか、時期や場所によってどのように異なるのか着目できるような発問が設定されている。<br>・世界の歴史の事象を通観することができるよう、各時代の世界の状況が地図とイラストで掲載されている。 |
| 日本文教出版 | ・第2～6編の節の最初のページに「節の問い」を見通すための二次元コードが設定されている。<br>・第1編で歴史的な見方・考え方として、「時系列」、「推移」、「比較」、「つながり」の4つの視点が、具体例とともに示されている。 |
| 自由社 | ・単元の内容と関連した豆知識を盛り込んだ「知っ得ポイント！」が掲載されている。<br>・史料・資料から読み取ることの重要性を学ぶことができるように、写真や図版・地図・グラフ等に詳細な解説が示されている。 |
| 育鵬社 | ・「TRY！」コーナーで調べ学習やグループでの話合い、発表等、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた活動の場面が設定されている。<br>・歴史的な見方・考え方として、「時期や年代」、「推移」、「比較」、「相互の関連」、「現在とのつながり」の5つの視点が示されている。 |
| 学び舎 | **中学校用　教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度使用）<br>神奈川県教育委員会　参照** |
| 令和書籍 | ・縦書きで、小見出しがいろは順で示されており、巻末を含めると500ページを超える分量となっている。<br>・歴史的な見方・考え方として、「年代と時系列」、「推移」、「比較」、「関連」、「現在とのつながり」の5つの視点が示されている。 |

| 主な審議内容及び検討結果 |
| --- |
| 【主な意見】<br>・東京書籍では、探求課題において「くらげチャート」等の思考ツールが示されており、生徒がどう考えを深めていくのか、その過程について触れられている。<br>・教育出版では、ビジュアル資料が豊富にあり、視覚的に学習内容を捉えていく工夫がされている。また、秦野市にゆかりのある二宮報徳についての記述が掲載されている。<br>・帝国書院では、具体的なテーマを示して、生徒の学び合いが実践できるように工夫されている。また、「Xチャート」等、思考ツールを活用しながら考える場面を設定している。<br>・山川出版では、日本の歴史と世界できごとを関連付けて学べるよう、帯年表や写真、地図・イラスト等の掲載方法が工夫されている。<br>・日本文教出版では、歴史から未来を学ぶという視点に立ち、過去を振り返りながら考え、社会参画や未来を創っていく 意識づけをしていく工夫がされている。<br>・自由社では、「ひとこと作文」があり、生徒自身が学習を振り返り、学びを調整し、表現していくことに繋がる。<br>・育鵬社では、学びを深めるために、年表や資料から時代像をまとめていけるように構成されている。また、秦野市にゆかりのある二宮報徳の記述が掲載されている。<br>・学び舎について、版型が他者と比較して大きい特徴があり、学習のまとめを記述するスペースが用意されている。<br>・令和書籍について、分量が多く詳細な記述がある。サイズが小さいことは、持ち運びしやすい反面、重量があるので配慮が必要である。<br>・各者、資料が豊富ではあるが、授業時間数を踏まえて取捨選択をしていくことが必要である。 |

【公民的分野】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 東京書籍 | ・より深い思考・判断ができるように、現代社会の見方・考え方のマークを使って学習課題が具体的に示されている。<br>・他教科の学習との連携を通して社会的事象について多面的に考察するために、「教科関連マーク」が示されている。 |
| 教育出版 | ・各章の導入における、「学習のはじめに」では、章の学習において着目すべき見方・考え方が示されている。また、章末には見方・考え方の変化に気付く構成になっている。<br>・様々な視点での考察・構想をするために、技能や表現力を身に付ける「公民の技」が設定されている。 |
| 帝国書院 | ・「公民的分野の学習の全体像」の中では、各章で働かせる見方・考え方や小学校、地理的分野、歴史的分野との関わりが示されている。<br>・章、節ごとの、「アクティブ公民」では、対話を通して既習事項を多面的・多角的に捉えられるように、学習課題が設定されている。 |
| 日本文教出版 | ・「地理・歴史とのつながり」では、公民的分野との関連性が示唆され、既習事項を生かした社会的な見方・考え方の糸口となる内容が示されている。<br>・既習事項を振り返りながら社会参画について多面的・多角的に考えられるように、学習課題ごとに、「明日にむかって」が設定されている。 |
| 自由社 | ・社会的な見方・考え方を働かせ、他の関連事項を理解するために、「ミニ知識」のコラムが設定されている。<br>・深く理解をするために、「もっと知りたい」のコーナーが設定されている。また、各課題を考察し、学習を発展させるために、章末に、「学習のまとめと発展」が設定されている。 |
| 育鵬社 | ・「なぜ「公民」を学ぶのか」では、公民、地理、歴史の関連を意識できるよう、時間軸・空間軸を用いて示されている。<br>・「学習を深めよう」では、章の学習内容に関連して、身近な地域の事例や世界的・歴史的動向について、調査する学習が設定されている。 |

主な審議内容及び検討結果

【主な意見】
・東京書籍では、導入として小学校の内容を振り返る等、小中学校の学びの繋がりを大切にした構成になっている。
・教育出版では、持続可能な社会に向けて」特設ページがで掲載されており、SDGsの視点をもってこれからの世の中について考える工夫がある。
・帝国書院と日本文教出版で、イラストやマンガが効果的に活用されており、視覚的に理解を促す工夫がされている。
・日本文教出版では、法教育、主権者教育、金融リテラシー教育の題材を自分の生活や身近な生活と結びつけながら学べるように内容が構成されている。
・自由社では、世界の様子を色々なところに入れている。また、「もっと知りたい」の欄が多く設けられており、生徒の興味関心が高まるような工夫がされている。
・育鵬社では、公民を地理、歴史の関連を意識できる構成になっており、一つの分野だけでなく他の分野と関連付けて理解していけるような工夫がされている。

【地図】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
| --- | --- |
| 東京書籍 | ・A4判のサイズを生かし、広域地図が掲載されるとともに、関連する情報も掲載されている。<br>・日本は、600万分の1の全体図と8地方ごとに100万分の1の全体図、主要都市を中心とした50万分の1の拡大図、地方ごとの主題図で構成されている。また、巻末に地名、資料索引が掲載されている。 |
| 帝国書院 | ・地理的分野の学習内容を深められるよう、国や州ごとに自然環境や人口密度、言語、産業等が掲載されている。<br>・日本は、500万分の1の全体図と8地方区分の100万分の1の全体図、主要都市ごとに50万分の1の拡大図で構成されている。また、統計資料をもとにした主題図、巻末に索引が掲載されている。 |

| 主な審議内容及び検討結果 |
| --- |
| 【主な意見】<br>・帝国書院では、小学校の学習や歴史・公民分野との関連が図られており、学びを繋げていく工夫がされている。<br>また、世界地図の州の全体図で日本の縮尺図が示されており、身近な生活と関連付けしやすい。<br>・東京書籍では、京都市奈良市等の市内地図があることで、同方面への修学旅行が予定されている学校にとっては、学びを深めるための活用が見込まれる。また、日本の自然や災害に関する資料が整理されている。 |

【数学】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 東京書籍 | ・個別最適な学びが実現できるよう、既習内容を確認する、「ちょっと確認」が示され、学び直しや前学年の復習ができるように構成されている。<br>・身近な場面を節の中で設定し、PPDACサイクルを用いて、その問題を解決するための方法を考えたり、データ処理したりする活動が設定されている。 |
| 大日本図書 | ・章末にある「ふり返ろう」では、学んだことを確認するために評価の観点が紙面の右上に示され、自己評価できるように設定されている。<br>・データから読み取れる傾向を表現させる問題や、分析した考え方が本当に正しいかどうかを判断させる問題が設定されている。 |
| 学校図書 | ・全体を通して例題等から問いの流れで構成されており、さらに基礎的・基本的な問題は、「確かめよう」や「計算力を高めよう」で演習ができるように設定されている。<br>・数学的活動のページでは、話し合いをベースに、主体的に問題発見から課題解決、さらに新たな問題を発見する過程を協働的に学ぶための活動が設定されている。 |
| 教育出版 | ・各章の最初に、「学習する前に」で既習内容の確認を行い、最後には「学習のまとめ」で学習内容の定着を確認できるように構成されている。<br>・通学時間という身近な問題を設定し、PPDACサイクルを用いてデータを分析したり、考えたりすることができる場面が設定されている。 |
| 啓林館 | ・学んだことの理解を確認するために、単元内の基礎的・基本的な問題が設置された、「学びをたしかめよう」と、応用力を伸ばす問題が設置された、「学びを身につけよう」の2部構成からなる章末問題が設定されている。<br>・問題を解決する際に、どのようにデータをまとめ、利用するのか考えることができるよう、複数の箱ひげ図を比較する問題が設定されている。 |
| 数研出版 | ・基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、「例」や「問」が設置されている。また、巻末の、「チャレンジ編」においても、基礎的・基本的な問題が設定されている。<br>・「データの傾向と調査」では、対話を通して分析方法を検討しながら分析したり、説明したりする場面が設定されている。 |
| 日本文教出版 | ・基礎的・基本的な内容の定着や復習のために、小節ごとに「めあて」が示されている。また、「例」に見出しを付けることで、学習内容の確認ができるように構成されている。<br>・データの集約方法や分析した結果について、考えたことを伝え合ったり、解決の過程を批判的に考察したりする学習活動が設定されている。 |

主な審議内容及び検討結果

【主な意見】
・東京書籍、大日本図書、教育出版では、仕事で数学を活用している人の紹介や、生活や社会で数学がどのように活用されているかが掲載されており、単元への動機付けとして、生活に結びづけた導入の工夫がされている。
・大日本図書では、内容構成をコンパクトにしつつ、巻末の補充問題を豊富に掲載することで、分量を調節したり、生徒が自身の習熟度に合わせて学びを深めたりしていけるような工夫がされている。
・学校図書の各章末にある自己評価欄は、視点を明確にして振り返りができるようになっている。また、協働的な学習や話し合いの場面では、生徒と生徒の学びを繋げていくような工夫がされている。
・啓林館では、「ステップ方式」の利用問題において、学びを「深める例」が示されており、数学の得意不得意に配慮したつくりになっている。
・数研出版では、生徒と先生の会話が掲載されており、生徒が困った時には先生に相談しても良いという安心感をもって学習をしやすい工夫がされている。
・日本文教出版の巻末にある「対話シート」は、生徒が考えを表現するための補助となることに加え、ノートに貼れるサイズになっているため、ノート活用のためのツールとしても生かすことができる。

【理科】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 東京書籍 | ・判型はAB判、年間を通じて1冊になっている。<br>・自学自習に対応できるよう、単元末に、「学習内容の整理」、「確かめ問題」、「活用問題」が設定されている。 |
| 大日本図書 | ・判型はB5判、年間を通じて1冊になっている。<br>・基本的な知識の定着を図り、その単元の学習内容を振り返ったり、思考力・判断力・表現力等を育成したりすることができるように、「まとめ」、「単元末問題」、「読解力問題」が掲載されている。 |
| 学校図書 | ・判型はAB判、年間を通じて1冊になっている。<br>・自学自習に対応できるよう、単元末に、「学習のまとめ」が設定されており、各学年の巻末には、「補充資料」が掲載されている。 |
| 教育出版 | ・判型はAB判、年間を通じて1冊になっている。<br>・学習の振り返りとまとめ、理解度を確かめるために、「要点をチェック」、「要点と重要用語の整理」、「基本問題」、「活用問題」、「学年末総合問題」が掲載されている。 |
| 啓林館 | ・判型はAB判、年間を通じて1冊になっている。<br>・知識及び技能の習得のために、「学習のまとめ」、「力だめし」が単元末に、「学年末総合問題」が巻末に設定されている。また、「中学校総合問題」が、3年生の巻末に設定されている。 |

主な審議内容及び検討結果

【主な意見】
・東京書籍では、学習する前の段階で自分の考えを書く活動が設定されており、生徒が自分の考えをもって主体的に学習を進めていけるように工夫されている。
・大日本図書では、日常生活と学習内容とのつながりを3つの観点で扱っており、生徒が理科と日常生活を関連付けて学習できるような工夫がされている。
・学校図書では、学習の区切りごとに課題のまとめやそこから考えられる見方・考え方が表されており、一つひとつの学習の中で何を身に付けることができるかがわかりやすい構成になっている。
・教育出版では、「探求の進め方」が折り込みページになっており、生徒がいつでも確認できるので学習をスムーズに進めることができる。また、比較的手に入りやすいものを題材にした製作活動が設定されている。
・啓林館では、単元の導入で小学校の学習内容が例示されているところがあり、小中の学びをつなげやすいように工夫されている。また、ワークシート的な探求実験のシートがあり、教師にとって、学習準備のしやすさに繋がる。
・東京書籍、学校図書、教育出版、啓林館では、AB版を採用しているため写真や実験の手順等が確認しやすい。
・各者、「探求」に関する活動や説明を設定されている。

【音楽（一般）】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 教育出版 | ・教材ごとに音楽的な見方・考え方に基づく活動のポイントが掲載されるとともに、教材によっては新出の用語や記号等、共通事項と関連する楽典内容が記載されたページが示されている。<br>・全教材が、「歌唱・鑑賞・創作」に分けて、見開き2ページの「学習MAP」で示されている。どの教材が何を目標とするのか記載されており、教員が系統的、発展的に教材を選択できるように示されている。 |
| 教育芸術社 | ・教材ごとに、学習目標とその実現のための活動文、音楽を形づくっている要素が掲載されているとともに、音楽的な見方・考え方を働かせながら特に考えたいポイントが示されている。<br>・教材ごとに、学習目標とその実現のための活動文、音楽を形づくっている要素が掲載されているとともに、音楽的な見方・考え方を働かせながら特に考えたいポイントが示されている。 |

| 主な審議内容及び検討結果 |
|---|
| 【主な意見】<br>・教育出版では、SDGsとの関連を全学年で取り扱っており、社会的な課題と音楽を関連付けられるように工夫されている。<br>・教育出版では、見開きページ「学習MAP」において「各領域・分野の学習の進め方が示されており、生徒自身が教材から何をどのように学んでいくかを捉えやすい工夫がされている。<br>・教育芸術社では、生徒になじみのある著名人からのメッセージや、国内外の豊富なポピュラーミュージックを掲載して生徒の興味関心を引手てるような工夫がされている。<br>・教育芸術社では、学習指導要領の教科目標と各教材との関連が視覚的に捉えられるように工夫されており、教材から何を学ぶかについて、生徒自身が捉えやすいように工夫されている。<br>・各者、身近な生活と音楽との関わりや著作権についての内容が掲載されている。 |

【音楽（器楽合奏）】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 教育出版 | ・各ページの左上に題材が示され、曲名の下には学びのポイントが太字で示されている。<br>・リコーダーにおいて、左手のみ、両手、サミング、アーティキュレーションの順で教材が掲載されている。また、発展的な学習として、トリルを入れた、「ブランデンブルク協奏曲」が掲載されている。後半ページには、リコーダーアンサンブルや箏のアンサンブル、リズムアンサンブルなど、人と合わせて演奏する学習が設定されている。 |
| 教育芸術社 | ・器楽の学習活動を通した学びのために、「学びのコンパス」では共通事項が、「注目するポイント」として示されている。<br>・リコーダーにおいて、左手のみ、両手、サミング、♯やｂが使われた教材の順に掲載されている。また、ソプラノリコーダー、アルトリコーダーのどちらでも演奏できるよう、2種類の楽譜が配置されている。後半ページには、リコーダーアンサンブルが掲載され、人と合わせて演奏する学習が設定されている。 |

主な審議内容及び検討結果

【主な意見】
・教育出版では、取り扱う楽器が演奏方法で種類分けされており、同種類の楽器でも西洋と東洋の楽器で比較することができる。
・教育芸術社では、巻末に演奏形態や楽器の特徴によって7つに分類した表が掲載されており、世界には多様な楽器が存在していることを知るきっかけとなる。
・各者、テレビ番組や映画の主題歌など生徒に馴染みのある楽曲を取り扱っており、興味関心をもって学習を進めていけるように工夫されている。

【美術】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 開隆堂 | ・海外や日本の美術文化、インクルーシブな視点をもつ題材やSDGsに関連した題材、著作権や肖像権について理解する題材等が掲載されている。<br>・学習の案内役を務めるキャラクターが設定され、発想・構想の方法や鑑賞の学習の進め方のポイントが、キャラクターの吹き出しを用いて示されている。 |
| 光村図書 | ・日本の絵画への理解を深める題材について、ページの用紙を変える等、強調したデザインで掲載されている。また、SDGsに関連する題材や防災に関するデザインを取り上げた題材が掲載されている。<br>・生徒自身の発想・構想を促すために、別冊資料に「発想・構想のために」のページが設けられている。また、中学生が試行錯誤しながら制作する様子が「みんなの工夫」として、作者のインタビュー動画の二次元コードとともに掲載されている。 |
| 日本文教出版 | ・日本や海外の美術文化、アール・ブリュットについて理解を深める題材が掲載されている。また、SDGsの目標と題材との関係が掲載されている。<br>・表現・鑑賞の意欲をひき出すために「発想・構想の手立て」のページが設けられており、生徒の活動の様子が掲載されている。また、表現題材すべてに発想・構想を促す「表現のヒント」が掲載されている。 |

| 主な審議内容及び検討結果 |
|---|
| 【主な意見】<br>・開隆堂は二冊構成、光村図書は二冊構成と資料が一冊、日本文教出版は三冊構成で構成されている。<br>・開隆堂では、表紙に他者と異なるインクを使用しており、手で触って作品の質感を感じられる工夫がされている。また、紙面の紙質について反射の少ない素材が使用されており、作品の質感が感じられる工夫がされている。<br>・光村図書では、日本絵画を掲載したページで和紙を使用しており、当時の作品の雰囲気や質感が想像しやすくなるように工夫されている。<br>・日本文教出版の三冊で構成されていることは、学年ごとの区切りが生徒にとってわかりやすい。また、鑑賞と表現を見開きページで構成しているので、それぞれの学びを関連付けて学習を進めやすい。 |

【保健体育】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 東京書籍 | ・見通しをもって学習に取り組むことができるよう、「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「知識・技能を習得」、「活用する」、「広げる」が学習の流れに沿って配置されている。<br>・既習の知識・技能を活用して自分の考えや課題について深く考えたり、意見交換等の対話的な活動から学びを深めたりすることができるよう、「活用する」が設定されている。 |
| 大日本図書 | ・課題解決的な学習が行えるように、「つかもう」、「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」、「活用して深めよう」の順で構成されている。<br>・資料をもとに考えたことを書き出したり、話し合ったりする学習活動を通して、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう、全ての単元に、「やってみよう」、「話し合ってみよう」が設定されている。 |
| 大修館 | ・学習課題が、「きょうの学習」に示され、「つかむ」、「身につける・考える」、「まとめる・振り返る」が学習の流れに沿って配置されている。<br>・既習内容の知識・技能を活用して課題等について深く考えたり、自分の意見を発表したりすることができるよう、「課題をつかむ」や「学習のまとめ」が設定されている。 |
| 学研 | ・課題解決的な学習の進め方を示し、主体的・対話的で深い学びにつながるよう、「課題の発見」、「課題の解決」、「学びの活用」の流れで構成されている。<br>・意見交換で多様な考えに触れたり、既習内容の知識・技能を活用して自分の考えや課題について深く思考したりできるよう、「ウォームアップ」、「学びを生かす」、「エクササイズ」がそれぞれ設定されている。 |

主な審議内容及び検討結果

【主な意見】
・東京書籍では、巻末スキルブックの内容が充実していると同時に、見やすく整理されている。
・大日本図書では、章末に学習のまとめとして重要な言葉がまとめられている。また、「学びを活かそう」を通して、学習したことを今後の実生活に活かせるように工夫されている。
・大修館「野外スポーツと危険」では、川の危険の項目で秦野に関する記述が一部あり、生徒が身近な生活と繋げて安全な生活について学べる。
・各者、ページ構成に規則性があり見やすいが、特に学研では、単元体系が必ず左ページに記載されているので、今何を学習しているのかを把握しやすい。
・各者、学習に対しての振り返りができるような構成になっている。

【技術分野】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
| --- | --- |
| 東京書籍 | ・「技術分野のガイダンス」により、技術の学習の意識付けが図られている。また、SDGsについて技術が果たしている重要な役割をわかりやすく考えられるよう、「SDGsとTechnology」が掲載されている。<br>・思考の流れに沿って系統的に学習が進められるよう、各内容とも、生活や社会を支える技術、技術による問題解決、社会の発展と技術という流れで構成されている。 |
| 教育図書 | ・技術の学習の意識付けを図るため、「技術（technology）を見つけよう！」が掲載されている。また、技術の上手な生かし方を考えられるよう、「学んだことをまとめよう」が設定されている。<br>・各内容の問題解決を取り扱う章の冒頭で、漫画を用いて流れが示されている。また、ガイダンスでは、立場によって見付かる問題や解決策が異なることが示されている。 |
| 開隆堂 | ・4つの技術の内容と学習の流れが、「技術の学習を始める前に」で解説されている。循環型社会や持続可能な社会について考えられるよう、ガイダンスをはじめ随所に環境に関するマークが付されている。<br>・思考の流れに沿って系統的に学習が進められるよう、各内容とも、基礎的・基本的な技術の習得、技術を活用した問題解決、技術と私たちの未来という流れで構成されている。 |

主な審議内容及び検討結果

【主な意見】
・中学校から学び始める分野であるため、各者ガイダンスがていねいに設定されている。
・東京書籍では、巻末の「統合的な問題解決」に関する内容が充実している。また、情報に関する取り扱いが他者と比較して多い。
・教育図書では、章ごとにある問題発見から学びの振り返りまでの流れがわかりやすい。また、別冊「スキルアシスト」は、生徒が活動中に困った時の活用が見込まれる。
・開隆堂は、ガイダンスでコンピューターやスマートフォンの扱い方に関するページがあり、学習で使用する際の留意点や実生活における注意点について取り上げている。

【家庭分野】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 東京書籍 | ・生活をよりよくするための、「家庭分野の見方・考え方」がガイダンスで紹介されている。また、各編の導入時にキャラクターが課題につながるヒントを示すとともに、課題を記入する欄が設けられている。<br>・実習や生活の実践に必要な基礎的な技能が、「いつも確かめよう」にまとめて掲載されている。 |
| 教育図書 | ・「生活の課題と実践」では、課題を設定し実践できるように設定されている。また、班やクラスで取り組める課題例も掲載され、協力・協働の見方・考え方が働くように構成されている。<br>・体験・実践的な学びを通じた、知識・理解が身に付くように、実習例が掲載されており、生徒が工夫し解決できるようになっている。 |
| 開隆堂 | ・「学習のまとめ」では、自分の考えや問いの答えを記述する形式になっており、思考力・判断力・表現力等の育成が図れるようになっている。<br>・生活の具体的な場面から考え、客観的な記述で基礎・基本を学び、生活の中から課題を考え、学習を振り返る構成になっている。また、学習内容は基礎から応用・発展へと設定されている。 |

| 主な審議内容及び検討結果 |
|---|
| 【主な意見】<br>・東京書籍で取り上げている、家庭内事故についてイラストから連想する活動は、より安全に住生活を営むことや、想像力を働かせて日々の生活を送ることにも繋がる。<br>・防災袋について各者で取り扱っているが、教育図書では自分で大きさを決めるような構成になっているので、実際の場面を想定して生徒が考えることに繋がる。<br>・開隆堂では、調理実習例と関連させた「調理方法Q＆A」があり、調理科学と関連付けて生活の営みに関わる見方・考え方を働かせられるように工夫されている。 |

【外国語】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 東京書籍 | ・「Unit」、「Stage activity」、「Real Life English」、「Let's Read」の4つの活動が設定されており、聞く・読む・話す（やり取り・発表）・書くの4技能5領域の能力を、目的をもってバランスよく習得できるよう設定されている。<br>・1年生の、「Unit0」から「Unit4」の各「Unit」の後には、「Sounds and Letters」が設定されており、「Unit」とは別に、小学校で習った単語の音とつづりの関係を集中して学ぶように構成されている。 |
| 開隆堂 | ・「Program」の初めに文法事項がイラストと音声で示され、どのような目的や場面、状況で使われる表現なのかわかるように構成されている。また、スモールステップで本文の要点を確認し、自分の言葉で本文の内容を伝える活動が設定されている。<br>・1年生の、「Get Ready」では、小学校で習った語彙や表現について、聞くこと・話すこと・読むこと・書くことの各言語活動を通して復習し、アルファベットと音を確認したり、英語の語順を整理したり等できるよう構成されている。 |
| 三省堂 | ・「Part」ごとに身に付けるべき言語材料が示されており、学習内容を意識して言語活動に取り組めるよう構成されている。「Lesson」を通して展開する一連のストーリーの中で、英文を聞いたり読んだりして概要や要点を捉えられるように設定されている。<br>・1年生の、「Lesson1」から「Lesson4」では、小学校で学んだ表現を聞く・話す活動で導入し、文法事項の確認を行ってから自分のことについて書く活動が設定されている。 |
| 教育出版 | ・「Part」ごとに身に付けるべき言語材料が示されており、学習内容を意識して言語活動に取り組めるように構成されている。「Think &Try」等で各技能を高めながら、3年間を通して英語を発信する力が身に付けられるよう構成されている。<br>・1年生の、「Springboard」では、小学校で学習してきた表現や語彙を音声や文字で振り返り、話す・書く活動を通して中学校で学ぶ言語材料を導入する前に復習できるよう構成されている。 |
| 光村図書 | ・「Part」で基本事項の理解を深め、複数の技能を生かすペア活動を通して、場面に応じて考え、判断し、表現する能力が身に付けられるよう構成されている。また、日々の活動をサポートする帯活動や即興的なやり取りのトレーニング等が設定されている。<br>・「Unit1」では1人称、「Unit2」では2人称と、主語が段階的に扱われている。また、言語材料が小学校からのつながりを意識して学べるように設定されている。 |
| 啓林館 | ・聞く・読む・話す（やり取り・発表）・書くの一定の流れの中で、4技能5領域がバランスよく習得できるよう構成されている。具体的に設定された課題に応じて、既習内容を活用できるよう設定されている。<br>・「Unit1」から「Unit3」では、音声活動から「Target」として文法事項を取り上げ、「Speak」で気持ちや考えを伝える活動が設定されている。また、「Unit1」では1人称、「Unit2」では2人称と主語が段階的に学べるように設定されている。 |

主な審議内容及び検討結果

【主な意見】
・各者、歴史的なことを説明したり科学的なことを紹介したりと、内容が充実している。また、ボキャブラリーも豊富である。
・各者、小学校の学びと繋げる工夫がされており、特に東京書籍では、小学校の内容を場面に当てはめて復習できるように工夫がされている。
・開隆堂では、進出表現がマンガ形式で示されているので生徒にとって興味がわきやすく、使用場面や状況のイメ ージをもちやすい効果が期待できる。
・三省堂では、身近な場面や状況で使われる自然な英語が設定されているので、実際のコミュニケーションに近い活動を行いやすい。
・各者、系統立てて学べるような構成がされているが、教育出版の3年間を通して英語を発信する力が身に付けられるような構成は、中学校生活を通して系統立てて学びやすい。
・光村図書の帯教材「Let's talk」は即興的に学ぶことができ、間違えを恐れずに実践的に学べる工夫がされている。
・啓林館では、「speak」で自分の気持ちを考えることが自己表現活動に結びつき、生徒が自分の意思をもって表現することにも繋がる。

【道徳】

| 発行者 | 調査員報告並びに検討委員調査研究内容概要 |
|---|---|
| 東京書籍 | ・判型はAB判であり、1年生は197ページ、2、3年生は205ページで構成されている。別冊はない。心情円が掲載されている。<br>・中心発問に触れる前に自分の考えを書いておくことができ、段階を踏んで自分の考えを深めていけるように、「つぶやき」のコーナーが設定されている。 |
| 教育出版 | ・判型はB5判であり、1年生は200ページ、2、3年生は192ページ（振り返り4ページ）で構成されている。別冊はない。<br>・各教材の末尾には、道徳的価値について問題意識をもつ問い、多面的・多角的に考える問い、自己を振り返る問いの3問で構成されている、「学びの道しるべ」が設定されている。 |
| 光村図書 | ・判型は変則的なB5判（192×257）であり、1年生は184ページ、2、3年生は192ページで構成されている。別冊はない。学期ごとに、毎時間記録するための、「まなびの記録」が掲載されている。<br>・自ら問いをもち、その答えを探求する姿勢を意識できるよう、第2教材で、「道徳で大切なこと」として、「自分に問う」、「友達と問い合う」、「生き方を問う」が示されている。 |
| 日本文教出版 | ・判型はB5判であり、1年生は176ページ、2年生は184ページ、3年生は192ページで構成されている。別冊「道徳ノート」（各学年40ページ）がある。<br>・各教材の末尾には、考え議論し、ねらいに迫るための、「考えてみよう」と、授業で学んだことを前向きに生かすための、「自分に＋1」という発問が設定されている。 |
| Gakken | ・判型はAB判であり、1年生は187ページ、2年生は191ページ、3年生は195ページで構成されている。別冊はない。<br>・生徒が広い視野で社会を捉え、よりよく生きることについて多面的・多角的に学びを深められるように、SDGs、多様性、キャリアの3つの項目について、各学年でユニット学習が設定されている。 |
| あかつき図書 | ・判型はB5判であり、各学年184ページで構成されている。別冊はない。<br>・連続して学習することで学びを広げ、深められるよう、1年生では、「いじめ」、「情報モラル」、「キャリア」の3テーマ、2、3年生ではこれに、「共に生きる社会」を加えた4テーマでユニット学習が設定されている。 |
| 日本教科書 | ・判型はAB判であり、1年生は156ページ、2年生は160ページ、3年生は164ページで構成されている。別冊はない。<br>・巻末の、「ウェルビーイングカード」を活用し、生徒同士が話し合うことで多様な考えや自身の考えを見直すことができるよう、具体的な活用方法が示されている。 |

主な審議内容及び検討結果

【主な意見】
・東京書籍では、心情円が掲載されていたり自分の考えを段階的に深める構成をとっていたりと、全体に共通して自分事として深く考えられるような工夫がされている。
・教育出版の各教材の末尾にある「学びの道しるべ」では、考える視点を投げかけるような表現になっており、生徒が段階的に学びを深めていける構成になっている。
・光村図書では、マンガを取り入れる等生徒が読みたくなるような工夫がされている。また紙面が整理されていて読みやすい。
・日本文教出版の井上康生さん、日本教科書の二宮報徳、学研の教材文の一節で登場するZARDの「負けないで」等、地域に関連した内容は、生徒が身近に感じやすく、自分事として捉えやすい。
・あかつき図書の「マイプラス」では、教材文に対して多様な視点をもって自分に 問うことで考えを深められるように工夫がされている。
・日本教科書では、偉人の言葉が紹介されており、それについて自分がどう思うか、生徒自身が自分事に置き変えて考える活動が設定されている。